

対面研修

ICFに基づく福祉機器の活用研修

NEW

目的

福祉機器を活用して職員の負担軽減とケアの質向上を図るための研修。「抱え上げない介護」の実現に向け、機器導入による環境調整やケア内容の見直しを学び、ICF(国際生活機能分類)の視点を活用した支援方法を理解します。腰痛予防など職員の健康に配慮した実践的な活用方法を身につけます。

効果

ICFの視点に基づき福祉機器を適切に活用することで、利用者の生活機能向上と自立支援の質が高まります。あわせて「抱え上げない介護」の実践により職員の身体的負担や腰痛リスクを軽減し、安全で持続可能なケア体制の構築につながります。

日時

令和 8年9月 15日(火) 10時00分～16時00分

会場

佐賀県社会福祉会館「Fukku/ふっく」(佐賀市天神1丁目4-15)

当館開催の研修

受講対象
・定員

新任職員から管理職員まで全階層の職員
60名程度

受講料

佐賀県社協会員:8,000円(非会員:13,000円)税込

申込締切

令和 8年8月31日(月) 午後12時00分

※定員に達した場合は早期に申込みを締切る場合があります。

※研修実施可能人数(20名)を満たさない場合は開催を見送る場合があります。

プログラム

時間	研修内容
9:30～	受付
9:55～10:00	オリエンテーション
10:00～12:00	(調整中)
12:00～13:00 (昼食・休憩)	
13:00～16:00	

※研修にはグループ討議・演習等があり、より効果的に学ぶことができます。

※研修内容は一部変更される場合があります。

講師

松尾 清美(まつお きよみ)氏
合同会社 KT福祉環境研究所 代表社員